

西栗倉村第 6 次総合振興計画

「生きるを楽しむ」アンケート

結果報告書（概要版）

～令和 6 年度調査結果と直近 5 年間の総括～

令和 7 年 5 月



生きるを楽しむ
SDGs 未来都市
西栗倉村

アンケート概要と本資料の説明

(1) アンケート概要

① アンケートの目的

令和3年度から令和12年度を計画期間とする第6次西栗倉村総合振興計画に掲げる「生きるを楽しむ 百年の森林に育まれたむら」の実現に向け、村づくりを進める上で、毎年度の取組評価や住民の意識を把握するために実施しています。

② 回答率について

各年度の回答率は右のとおりです。

③ 対象者について

18歳以上の全住民を対象としています。

(小中学生向けの調査は別に行っています。)

区分	R2	R3	R4	R5	R6	R6年代別		
						～39歳	40～64歳	65歳～
回答数	389	382	269	310	340	48	80	204
対象者	1,250	1,200	1,201	1,169	1,065	236	346	483
回答率	31.1%	31.8%	22.4%	26.5%	31.9%	20.3%	23.1%	42.2%

④ 許容誤差について

アンケート調査は許容誤差という指標があり、これは同じ質問を全員（全村民）に行った場合はどうなるか、を示すものです。

令和2年度～令和6年度いずれの調査においても、高校生以上の全村民に聞いた場合、アンケート結果と誤差5%程度までに収まると考えられる結果となっています。

よって、経年比較による5%以内の差は、ほとんど変わらないものとして取り扱っています。

また、令和6年度調査を年代別にみると、39歳以下は誤差13%程度、40～64歳は誤差7%程度、65歳以上は誤差4%程度に収まるものと考えられます。

(2) 概要版について

アンケート結果報告書（概要版）は、結果概要を分かりやすく村民の皆さまにお知らせすることを目的として作成しています。

内容としては、村全体に関わる項目を右表記載の4つの観点・各1ページで整理しています。

全てのアンケート結果については、別途公表しているアンケート報告書でご確認下さい。

概要版記載の4つの観点

1、住民の幸福度

2、村の取組の認知度等

3、生活における満足度

4、定住に関する意向

1、住民の幸福度

✓ 幸福度は上昇傾向にあり、国・県平均より高くなっています。

「とても幸せを10点、とても不幸せを0点」としてお聞きすると、令和6年度は平均点が7.1点になりました。令和3年度から経年比較すると、上昇傾向にあると言えます。

併せて、デジタル庁の委託事業で実施された調査では、令和6年度「国：6.5点、岡山県：6.5点」となっており、西粟倉村の方が高くなっています。

西粟倉村幸福度平均点			
R3	R4	R5	R6
6.5点	6.7点	7.0点	7.1点

✓ 39歳以下の幸福度が高くなっています。

年代別に見ると、39歳以下の方の平均が7.4点と他の年代より高くなっています。

✓ 5年後の幸福度は年代によって傾向が異なっています。

5年後の幸福度について、「あなたは5年後どの程度幸せですか」とお聞きすると、39歳以下は5年後の方が高く、40～64歳はあまり変わらない、65歳以上は5年後の方が低くなっています。

年代別の幸福度（R6）				
区分	全体	～39歳	40～64歳	65歳～
現在	7.1点	7.4点	7.0点	7.1点
5年後	6.8点	8.0点	7.1点	6.4点

✓ 幸福感を判断するのに最も重要なのは「健康状況」となっています。

「幸福感を判断する際に重視した点は何ですか」とお聞きすると、4人に3人以上が「健康状況」、半数以上が「家族関係・家計・自由な時間」と回答しています。

✓ 幸福感の判断基準が変化しています。

幸福感を判断するための要素として、ここ4年間で「健康・家計・友人・自由な時間」が10%以上上昇しています。家計は近年の物価高等の影響、友人・自由な時間はプライベートを充実させたいという思いが高まっているものと考えられます。

幸福度を判断するに重視した要素			
項目	R6結果	R3→R6の変化	
家計の状況（所得や消費）	59.8%	12.7%	↑
就業の状況（仕事の有無や安定）	24.8%	5.2%	↔
健康状況	76.4%	13.6%	↑
自由な時間や充実した余暇	53.4%	10.2%	↑
仕事のやりがい	27.9%	1.2%	→
社会貢献	12.9%	3.5%	→
家族関係	60.7%	8.3%	↔
友人関係	39.9%	10.3%	↑
職場の人間関係	17.2%	2.5%	→
地域コミュニティとの関係	23.9%	6.6%	↔

2、村の取組の認知度等

✓ 「生きるを楽しむ」への共感度は、ほぼ横ばいの傾向となっています。

西栗倉村の掲げる「生きるを楽しむ」のキャッチコピーへの共感度をお聞きすると、令和6年度は全体の3分の2の方が共感している（やや共感も含む）結果となりました。
また年代別では、39歳以下の共感度が高くなっています。

「生きるを楽しむ」への共感度			
R3	R4	R5	R6
64.3%	69.1%	67.9%	66.6%
R6年代別	～39歳	40～64歳	65歳～
	83.0%	72.2%	59.3%

✓ SDGsの認知度は8割以上となっています。

「SDGsという言葉聞いたことがありますか」とお聞きすると、8割以上の方があると回答しています。

SDGsの認知度		
R4	R5	R6
79.6%	83.2%	83.1%

✓ 村の取組への認知度は全体として高まっています。

村の取組について「聞いたことがある・内容も知っている」とお答え頂いた方は、この5年間で全ての取組において増えており、全体的に認知度が高まっていると言えます。

✓ 村の取組への理解度は、取組によって状況が異なります。

村の取組についての理解度（内容も知っていると回答した方）は、「あわポ・アプリ村民票」が向上しています。

一方で、「ローカルベンチャー育成・環境モデル都市構想・百年の森林構想」などは、この5年間で認知度はある程度高まったが理解度はほとんど変わっていない結果となっています。

各種取組への認知度・理解度				
項目		R6結果	R2→R6の変化	
百年の森林構想の取り組み	認知度	90.3%	5.2 %	↗
	理解度	45.8%	1.6 %	→
環境モデル都市構想の取り組み (木質バイオマス循環事業・小水力発電事業など)	認知度	83.0%	6.4 %	↗
	理解度	34.1%	0.4 %	→
ローカルベンチャー育成の取り組み	認知度	69.5%	11.4 %	↑
	理解度	25.2%	▲ 1.3 %	→
SDGs未来都市認知度画の取り組み	認知度	73.5%	21.5 %	↑
	理解度	24.0%	3.9 %	→
西栗倉アプリ村民票	認知度	62.6%	26.9 %	↑
	理解度	26.7%	10.5 %	↑
あわポ（あわくらポイントサービス）	認知度	91.4%	19.4 %	↑
	理解度	59.0%	18.4 %	↑
一般財団法人西栗倉むらまると研究所の取り組み	認知度	67.2%	25.6 %	↑
	理解度	20.4%	6.3 %	↗
一般社団法人Nest（ネスト）の取り組み	認知度	54.5%	17.0 %	↑
	理解度	24.0%	6.7 %	↗
百森留学の取り組み	認知度	51.7%	14.8 %	↑
	理解度	13.8%	3.6 %	→

3、生活における満足度

✓ 全体的な生活における満足度はほぼ横ばいとなっています。

村での生活に関わる各項目の満足度（大変満足・満足）をお聞きすると、全27項目中、やや上昇：1項目、ほぼ横ばい：23項目、やや低下：2項目、低下：1項目と、全体としてみるとほぼ横ばいの状況になっています。

✓ 満足度が高いのはインフラ関係となっています。

満足度が高い項目は、「上水道の整備、下水・ごみ・し尿の処理、幹線道路や生活道路の整備」となっており、インフラに関係する項目が高くなっています。

✓ 村内資源が乏しい項目の満足度が低くなっています。

特に満足度が低い項目は、「高校への通いやすさ・身近に購入できる買い物の便利さ」など、村内に当該資源がない・他市町村と比較して乏しい項目となっています。また、「保育環境や子供の遊び場の充実度」はここ5年間で満足度が低下しています。

満足度の変化：凡例	
↑	上昇
↗	やや上昇
→	ほぼ横ばい
↘	やや低下
↓	低下

生活における満足度（その①）			
項目	R2→R6の変化		R6結果
幹線道路や生活道路の整備状況	0.2 %	→	65.5%
上水道（簡易水道）の整備状況	3.0 %	→	81.1%
下水・ごみ・し尿の処理	2.9 %	→	77.5%
集会所などの整備状況	▲ 3.8 %	→	47.4%
病院などの保健・医療・福祉施設の整備状況	▲ 3.7 %	→	33.3%
休日・夜間の救急医療体制	0.4 %	→	16.3%
福祉サービス（在宅福祉など）の状況	▲ 2.2 %	→	22.5%
地域の福祉（介護分野・障害分野）のサービス	1.1 %	→	24.0%
地域の産前産後サポート・育児支援サービス	4.1 %	→	22.7%
地域における健康づくりの取組	3.0 %	→	34.4%
行政の情報提供の充実度	▲ 2.4 %	→	33.2%
小中学校への通いやすさ	▲ 3.7 %	→	36.6%
高校への通いやすさ	▲ 4.0 %	→	1.9%
保育環境や子どもの遊び場の充実度	▲ 10.7 %	↓	18.4%

生活における満足度（その②）			
項目	R2→R6の変化		R6結果
教育環境（特色のある学校教育等）の充実度	▲ 6.9 %	↘	15.4%
子育てに対する地域の協力	▲ 3.1 %	→	22.6%
鉄道やバスなどの公共交通の利便性	▲ 0.7 %	→	17.3%
インターネットなどの情報通信環境	1.8 %	→	37.0%
携帯電話の通信状況	1.5 %	→	52.9%
デジタル機器を活用したサービスの整備状況	0.4 %	→	19.4%
身近に購入できる買い物の便利さ	▲ 5.4 %	↘	6.7%
スポーツ・レクリエーション施設の整備状況	0.8 %	→	11.6%
芸術・文化に触れる機会	3.1 %	→	12.1%
自然環境の保全状況	9.2 %	↗	36.2%
伝統文化や祭り等の地域文化の保存状況	2.1 %	→	26.6%
洪水・土砂災害等の災害に対する安全性	▲ 1.0 %	→	17.5%
生活費の状況	▲ 0.5 %	→	15.7%

※一部の項目はR4→R6を比較しています。

4、定住に関する意向

- ✓ 定住意向のある方は約7割でほぼ横ばいの傾向となっています。

「あなたは西栗倉村にこれからも住み続けたいですか」とお聞きすると、約半数の方が「ずっと住み続けたい」と回答しています。

また、「ずっと住み続けたい・当分は住んでいたい」という定住意向のある方は、7割程度で推移しています。

- ✓ 39歳以下の定住意向は約4割となっています。

定住意向を年代別に見ると、39歳以下の割合が約4割と低くなっており、「ずっと住み続けたい」に限ると14.9%となっています。

また、39歳以下では「近いうちに村外へ移る予定がある」の割合も高くなっています。

定住に関する意向（経年比較）				
選択肢	R3	R4	R5	R6
できる限りずっと住み続けたい	50.5%	54.6%	46.0%	48.9%
当分は住んでいたい	17.3%	17.5%	23.2%	17.5%
しばらくは住むつもりだが将来は転出をしたい	5.5%	4.1%	10.9%	7.9%
西栗倉村外に移りたいが具体的な計画はない	5.5%	4.1%	5.6%	4.8%
近いうちに西栗倉村外へ移る予定がある	2.9%	0.4%	1.3%	2.7%
よくわからない	7.3%	10.0%	5.6%	9.7%
考えたことがない	6.0%	7.1%	7.3%	8.5%

定住に関する意向（R6年代別）				
選択肢	全体	～39歳	40～64歳	65歳～
できる限りずっと住み続けたい	48.9%	14.9%	39.8%	64.7%
当分は住んでいたい	17.5%	25.5%	26.5%	9.4%
しばらくは住むつもりだが将来は転出をしたい	7.9%	17.0%	8.2%	4.7%
西栗倉村外に移りたいが具体的な計画はない	4.8%	4.3%	6.1%	4.1%
近いうちに西栗倉村外へ移る予定がある	2.7%	17.0%	1.0%	0.0%
よくわからない	9.7%	19.1%	10.2%	7.1%
考えたことがない	8.5%	2.1%	8.2%	10.0%